

神戸市会議員



# 岡田ゆうじ

## 市議会活動レポート

### 真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和 53 年 6 月 25 日生まれ (39 歳)
- 慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
- 国会議員政策担当秘書資格試験に合格●参議院議員末松信介政策担当秘書
- 平成 29 年 10 月神戸市会議員補欠選挙にて初当選



2018.1

No.3

# 本会議一般質問

昨年 12 月 7 日、当選後初めて、久元市長以下関係当局に対する一般質問のため、本会議において登壇いたしました。

市会議員として最も重要な責任は、市民の皆様のお声を議会へ届けることです。今回質問に立たせていただくに際し、市民の皆様との意見交換を重ねた結果、「いじめ問題」「小学校等の教室不足」「漁業振興」「郵便局ネットワークの利活用」「港湾物流産業の促進」の 5 項目について取り上げました。

今号ではその一部をご報告させていただきたいと思っております。



## いじめ問題対策について



昨年 10 月の垂水区のいじめ自殺事案について、第三者委員会の設置、及びその報告書のいずれも非公表となっている。遺族に最大限の配慮をしつつも、**可能な限り公表すべきではないか。**  
いじめがゼロになることは理想だが、成長過程にある子どもの本質を鑑みれば、それだけを追いつめるといじめの認知が消極的となりかねない。**いじめ事案に臨む基本姿勢**を市長に問いたい。

第三者委員会を立ち上げて調査を開始することについては、当該学校の保護者に説明を行ったうえ、開始したところであるが、**今後どのような形の公表のあり方がいいのか**ということとはよく検討してまいりたい。調査報告書の公表については、遺族の確認がなされていない現時点では、公表できない状況であるが、**今後遺族の確認が得られれば、公表の仕方及び公表内容を確認のうえ、公表についても検討してまいりたい。**



菅村新之助教育長

いじめはなくしていかなければいけないという基本的な姿勢に立ちつつも、**一人ひとりの子供の心の中の問題**であるから、大変対応が難しい問題。特に学校現場の先生方を中心に、**色々な観点からの事柄を考えながら、いじめをなくしていくという、基本的な姿勢に立つ**ということが重要だと思う。



久元喜造市長

## 小中学校の教室不足について



児童の受け入れに何らかの対策が必要となるような要注意校区が神戸市全体で18校あり、そのうち4校も存在するのが垂水区である。例えば舞多間小学校は、現在878名の生徒が再来年には1,360名にも増加し、**教室が全く足りなくなる**。

舞多間小学校は、中学は本多間中学校の校区だが、本多間中の教室も平成32年度には足りなくなる。「**自分の子供を仮設校舎で学ばせたくない**」という声もある。新興住宅地域全体に共通する課題であるが、この教室不足問題にどう対応するのか、伺いたい。

ご指摘の舞多間小学校だが、今後計画されている住宅供給を踏まえると、**平成32年度から当分の間、教室不足になる見込み**であるので、対策として仮設校舎の設置を検討しており、現在その設計を進めているところである。ただ、仮設校舎といっても、内装や機能面を本設校舎並みの仕様としており、建築基準法上の耐震基準も満たした長期使用にも耐えうるものと考えている。**本多間中学校についても同様**である。

今後児童・生徒数の推移を把握し、迅速に対応していきたい。



雪村新之助教育長

## 港湾物流産業の促進について



邦船3社のコンテナ船事業の統合やメガキャリアにおけるアライアンスの再編など、港湾を取り巻く国際競争環境は厳しさを増している。

在来貨物を拡充するためには**集貨インセンティブ政策が必要**。今般神戸港では、**国内の主要港では初めての試み**として、新たに神戸港を利用して在来貨物を輸出入する荷主を対象に、神戸港を利用する際に必要となる国内輸送費、保管料、荷役費などの経費の半額を補助する支援制度を設けたところだが、現在までの進捗状況、港勢拡大に向けた効果について、伺いたい。

今年度より新たな集貨施策として、在来貨物の助成制度を創設した。その効果だが、**インドネシア向け発電プラント建設用機器**などの新たな輸出貨物の獲得や、国内他港へ輸入していた工作機械を神戸港へ切り換えるなどの効果があった。荷主の方々からの関心も高く、**当初想定していた以上の事業者からの申請**を頂いている。

現在、岸壁と背後用地が逼迫しているが、在来貨物取扱事業者の神戸港への進出の意向は高く、今後も港勢拡大に向けて、積極的な誘致に取り組んでいきたい。



岡口憲義副市長

六甲アイランド沖に新たな物流拠点を整備する、**神戸港ロジスティクスターミナル構想**の取り組みはどのように進めるのか、見解を伺いたい。

また、国際コンテナ戦略港湾である神戸港が、釜山港に負けない東アジアのハブ港となるためには、国を挙げた取組が必要であると考えます。国内ハブ港としての機能強化を進めていくため、西日本諸港が実施する釜山港への外航フィーダー支援を廃止させる呼びかけを国主導で行うなど、**国策としての国の支援のさらなる強化・拡充が必要**だと考えるが、神戸市としてどのように国に働きかけていくのか、見解を伺いたい。

神戸港ロジスティクスターミナル構想は、「貨物を神戸に集めるために、どのような機能が必要か」という視点で議論いただいたものであり、「**流通・加工・製造機能を備えた再輸出型のトランシップ拠点**」として、「グローバルなサプライチェーンの中で、新たな価値を生み出す港」を目指す取り組みである。

**国際コンテナ戦略港湾は国策**であり、ここ数年、国と神戸市が連携し、釜山フィーダーのみを対象としたインセンティブを設けている西日本諸港に対して是正・協力を求めている。



岡口憲義副市長

※質問者、答弁者のイラストは垂水区在住のイラストレーター、川上奈々様に描いていただきました。

「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-15-9-3F  
TEL: 078-785-5171 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ  
ホームページ  
mail@okadayu.ji.net  
www.okadayu.ji.net

